

自治とは何か、どうつくるか —全国初の政策を打ち出す新城市 の取り組みから見えてきたもの

北海道自治体学会 オンライン研究会 特別セミナー

2022.4/9(土) 14:00～16:20

穂積亮次 前新城市長
×
松下啓一 元相模女子大学教授

- ・前半 対談形式の問題提起
- ・後半 質疑・意見交換

若者条例・若者議会条例、市長選挙立候補予定者公開政策討論会条例など全国の先頭を行く新城市の取り組みを通して、自治とは何か、どのように取り組んでいけばよいのか、そのヒントを考えます。



上: 市民まちづくり集会
下: 若者議会メンバー募集ポスター

定員：60名（どなたでも参加できます）

申込：<https://forms.gle/5p1QtcGo9JVz6DKo7>

締切：4月4日（月）

*参加者にはZoomのURLを送ります



（裏面に詳細）

テーマ紹介

注目される全国初の政策を次々に打ち出してきた愛知県新城市。その舵をとって来た穂積前市長と長年その政策アドバイザーを務めてきた松下啓一元相模女子大学教授の特別対談。全国の先頭に行く新城市の取り組みを通して、自治とは何か、どのように取り組んでいけばよいのか、そのヒントを考える。

(問題提起)

全国初となる若者条例・若者議会条例、市長選挙立候補予定者公開政策討論会条例、市民・行政・議会が一堂に会してまちの課題を考える市民まちづくり集会、自治振興事務所長の市民任用が、なぜつくられたのか

- ・これら条例、制度の紹介
- ・つくられる背景、制度化で悩んだことなど

(議論の展開)

- ・こうした制度がつくられる源泉（首長の思い、政策起業家の役割）
- ・住民自治とは何か。地域からの再定義
- ・首長と議会の二元代表制と市民の役割
- ・ポピュリズムの風潮をどういなしていくか。選挙制度の問題（低投票率）など

講師



■ 穂積亮次（ほづみ りょうじ）氏

2005年、3市町村合併で誕生した新・新城市の初代市長に就任。以後4期16年市長をつとめる。在任中は、市民自治社会の創造（同市第1次総合計画）をめざして多くの政策形成に励む。著書に『自治する日本—地域起点の民主主義』（萌書房）など。



■ 松下啓一（まつした・けいいち）氏

地方自治研究者・実践者（元相模女子大学教授）、現代自治体論。「励ます地方自治」を展開。26年間の横浜市職員時代には、総務・環境・都市計画・経済・水道などの各部局で調査・企画を担当。近著に、『自治するまちのつくり方・愛知県新城市の「全国初の政策づくり」から学ぶもの』（イマジン出版社）。穂積氏との共著で、『選挙はまちづくり わかりやすく・おもしろく 公開政策討論会条例ができるまで』（イマジン出版社）、『自治体若者政策・愛知県新城市の挑戦—どのように若者を集め、その力を引き出したのか』（編著・萌書房）

◇オンライン研究会とは 北海道自治体学会が、コロナ禍のもと、会員や研究者、市民の皆さんの交流と研鑽の場を目指して2020年にスタートしたZoomを使った研究会です。参加は無料。原則毎月開催。統一テーマは「ポストコロナの自治」としています。研究会終了後は、オンライン交流会開催（自由参加）

◇問い合わせ⇒北海道自治体学会運営委員（吉田）fwgd5404@jcom.zaq.ne.jp